



# 平成27年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年11月13日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 倉元製作所  
コード番号 5216 URL <http://www.kuramoto.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鈴木 聡  
問合せ先責任者 (役職名) 経営管理部長 (氏名) 柴田 哲

TEL 0228-32-5111

四半期報告書提出予定日 平成27年11月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成27年12月期第3四半期の連結業績(平成27年1月1日～平成27年9月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年12月期第3四半期	4,522	△10.1	△346	—	△383	—	△207	—
26年12月期第3四半期	5,030	△14.2	△129	—	△216	—	△242	—

(注) 包括利益 27年12月期第3四半期 △342百万円 (—%) 26年12月期第3四半期 △214百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年12月期第3四半期	△12.83	—
26年12月期第3四半期	△15.01	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年12月期第3四半期	9,660	2,905	30.1	180.00
26年12月期	10,911	3,284	30.1	203.48

(参考) 自己資本 27年12月期第3四半期 2,905百万円 26年12月期 3,284百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
27年12月期	—	0.00	—		
27年12月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成27年12月期の連結業績予想(平成27年1月1日～平成27年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,300	7.1	240	—	160	—	240	—	14.87

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
 新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
 ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無  
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無  
 ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)  
 ② 期末自己株式数  
 ③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年12月期3Q	16,143,170 株	26年12月期	16,143,170 株
27年12月期3Q	880 株	26年12月期	880 株
27年12月期3Q	16,142,290 株	26年12月期3Q	16,142,290 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対するレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（平成27年1月1日～平成27年9月30日）におけるわが国経済は、各種政策の効果もあって総じて緩やかな回復基調を持続するものの、産業間、規模間及び生産・販売構造の差異により濃淡がみられました。

このような環境の中、当社グループの〔ガラス基板事業〕は、市場構造や顧客環境の変化が著しく、受注は大きく低迷しました。一方、〔精密研磨布事業〕は、ハードディスクドライブの在庫調整が一段落したこと等により受注が回復しました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、4,522百万円（前年同期比10.1%減）に、営業損失は346百万円（前年同四半期は129百万円の営業損失）に、経常損失は383百万円（前年同四半期は216百万円の経常損失）に、四半期純損失は207百万円（前年同四半期は242百万円の四半期純損失）と遺憾ながら赤字に陥りました。

#### 〔ガラス基板事業〕

ガラス基板事業においては、生産基盤の海外シフトや顧客環境の変化により、売上高は2,245百万円（前年同期比20.4%減）に、セグメント損失は496百万円（前年同四半期セグメント損失は228百万円）となりました。

#### 〔精密研磨布事業〕

精密研磨布事業は、受注の回復により、売上高は2,138百万円（前年同期比3.6%増）に、セグメント利益は284百万円（前期比25.2%増）となりました。

#### 〔その他事業〕

その他事業は、産業用機械製造販売等ではありますが、売上高は245百万円（前年同期比13.8%増）に、セグメント損失は132百万円（前年同四半期セグメント損失は143百万円）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### （資産の部）

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べて1,250百万円減少し、9,660百万円となりました。

流動資産は、現金及び預金、受取手形及び売掛金の減少等により551百万円減少し、3,019百万円に、固定資産は、有価証券の売却及び減価償却費の計上等により699百万円減少し、6,641百万円となりました。

#### （負債の部）

負債は、支払手形及び買掛金の減少並びに未払金の減少、借入金の返済等により871百万円減少し、6,755百万円となりました。

#### （純資産の部）

純資産は、有価証券売却によるその他有価証券評価差額金の減少及び四半期純損失の計上に伴い利益剰余金の欠損が拡大したため、379百万円減少し、2,905百万円となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

市場環境の不透明感はありますが、当社グループでは得意先のニーズを的確に捉え、新たな付加価値のための技術構築に注力するとともにモノづくり力を一層強化し、今後の収益の確保に努めてまいります。

平成27年12月期の通期業績予想については、平成27年8月12日の「第2四半期累計期間の業績予想値と実績値との差異および通期業績予想の修正に関するお知らせ」公表時の予想数値に変更はありません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。）及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。）を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更するとともに、割引率の決定方法を従業員の平均残存勤務期間に近似した年数に基づく割引率から、退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率に変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、第1四半期連結会計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、第1四半期連結会計期間の期首の退職給付に係る負債が36,840千円増加し、利益剰余金が36,840千円減少しております。なお、当第3四半期連結累計期間の営業損失、経常損失及び税金等調整前四半期純損失に与える影響は軽微であります。

## 3. 継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは、過年度より抜本的な経営体質の改善及び収益基盤の強化を継続実施しております。当第3四半期連結累計期間においては、受注低迷に伴う稼働率低下等の影響が大きく、営業損失346百万円、経常損失383百万円を計上するに至っておりますが、引き続き収益構造の改善及びキャッシュ・フローの安定化を図っております。その一方で、取引金融機関に対する借入金の返済猶予の状況は継続しており、取引金融機関によって期限の利益の確保が短期にとどまっている状況となっております。これにより、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような状況が存在しております。

そこで、当社グループは当該状況を解消するための対応策として、ますます収益構造及びキャッシュ・フローを安定化すべく経営体質のさらなる改善を推し進めるとともに、それらを反映した事業計画を策定し、これに基づく借入金返済計画について取引金融機関からの同意を得られるよう協議しております。その結果、全ての金融機関から返済計画に対する一定の同意が得られております。

以上を踏まえ、収益構造及びキャッシュ・フローの安定化を推進していることと取引金融機関からの一定の同意が得られていること等を総合的に勘案した結果、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないと判断しております。

## 4. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,134,086	799,560
受取手形及び売掛金	1,646,134	1,411,286
商品及び製品	111,332	133,777
仕掛品	242,854	254,411
原材料及び貯蔵品	213,580	268,587
繰延税金資産	168,278	103,835
その他	54,833	48,413
貸倒引当金	△476	△432
流動資産合計	3,570,623	3,019,439
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,077,268	1,971,448
機械装置及び運搬具(純額)	1,165,288	1,007,194
土地	3,458,305	3,394,482
その他(純額)	104,420	98,705
有形固定資産合計	6,805,282	6,471,830
無形固定資産	76,115	73,844
投資その他の資産	459,559	95,784
固定資産合計	7,340,957	6,641,459
資産合計	10,911,581	9,660,899
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	568,807	485,223
短期借入金	4,209,214	4,032,988
1年内返済予定の長期借入金	298,464	147,882
未払金	637,660	437,938
未払法人税等	69,721	36,565
賞与引当金	—	43,050
営業外支払手形	23,744	20,406
その他	77,301	134,023
流動負債合計	5,884,914	5,338,077
固定負債		
長期借入金	1,435,285	1,221,744
繰延税金負債	93,352	1,289
役員退職慰労引当金	103,632	105,605
退職給付に係る負債	57,061	64,611
その他	52,711	23,980
固定負債合計	1,742,042	1,417,231
負債合計	7,626,956	6,755,309

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	4,885,734	4,885,734
資本剰余金	6,335,992	6,335,992
利益剰余金	△8,109,982	△8,353,916
自己株式	△411	△411
株主資本合計	3,111,334	2,867,400
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	151,529	2,842
退職給付に係る調整累計額	21,761	35,346
その他の包括利益累計額合計	173,290	38,189
純資産合計	3,284,624	2,905,589
負債純資産合計	10,911,581	9,660,899

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年9月30日)
売上高	5,030,259	4,522,524
売上原価	4,301,328	4,060,348
売上総利益	728,930	462,176
販売費及び一般管理費	858,146	808,497
営業損失(△)	△129,215	△346,321
営業外収益		
受取利息	1,183	975
不動産賃貸料	12,252	12,925
補助金収入	18,939	47,199
その他	12,008	21,050
営業外収益合計	44,383	82,151
営業外費用		
支払利息	116,776	109,158
その他	15,327	10,484
営業外費用合計	132,104	119,643
経常損失(△)	△216,935	△383,812
特別利益		
固定資産売却益	17,486	70,185
投資有価証券売却益	—	227,916
特別利益合計	17,486	298,102
特別損失		
固定資産除却損	507	3,085
投資有価証券評価損	—	209
ゴルフ会員権評価損	499	—
特別損失合計	1,007	3,295
税金等調整前四半期純損失(△)	△200,457	△89,006
法人税、住民税及び事業税	44,673	55,722
法人税等調整額	△2,837	62,364
法人税等合計	41,836	118,087
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△242,293	△207,093
四半期純損失(△)	△242,293	△207,093

(四半期連結包括利益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△242,293	△207,093
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	27,585	△148,686
退職給付に係る調整額	—	13,585
その他の包括利益合計	27,585	△135,100
四半期包括利益	△214,707	△342,194
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△214,707	△342,194

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成26年1月1日至平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	ガラス基板	精密研磨布	計				
売上高							
外部顧客への売上高	2,822,161	2,006,169	4,828,331	201,928	5,030,259	—	5,030,259
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	58,762	58,762	13,395	72,157	△72,157	—
計	2,822,161	2,064,931	4,887,093	215,323	5,102,417	△72,157	5,030,259
セグメント利益又は損 失(△)	△228,269	227,568	△701	△143,783	△144,484	15,268	△129,215

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、産業用機械事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額15,268千円は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成27年1月1日至平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	ガラス基板	精密研磨布	計				
売上高							
外部顧客への売上高	2,245,938	2,098,602	4,344,540	177,984	4,522,524	—	4,522,524
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	39,878	39,878	67,027	106,905	△106,905	—
計	2,245,938	2,138,480	4,384,418	245,011	4,629,430	△106,905	4,522,524
セグメント利益又は損 失(△)	△496,095	284,827	△211,267	△132,661	△343,929	△2,391	△346,321

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、産業用機械事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△2,391千円は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。